法　文法　第1回の答え

(一) ア（だから）	(二) イ（しかし）	(三) ウ（たとえば）	(四) エ（または）	(五) オ（さて）
(六) イ（しかも）	(七) ウ（なぜなら）	(八) ア（すると）	(九) オ（それとも）	(十) エ（つまり）

考え方

(一)　前が理由、後ろが結果なので順接の「だから」。

(二)　予想と反対のことが続くので逆接の「しかし」。

(三)　前のことの例を挙げているので「たとえば」。

(四)　二つのうちどちらかを選ぶので「または」。

(五)　話題を変えるので「さて」。

(六)　よいことにもう一つよいことを付け足すので「しかも」。

(七)　文の終わりが「～からだ」なので「なぜなら」。

(八)　ふたを開けたすぐあとに起きたことをつなぐので「すると」。

(九)　問いかけの文で、どちらにするかをたずねるので「それとも」。

(十)　同じ人を別の言い方で言いかえるので「つまり」。

法　文法　第2回の答え

(一) イ（たとえば）	(二) ウ（それでも）	(三) ア（ただし）	(四) エ（または）	(五) ウ（まるで）
(六) ア（たとえ）	(七) オ（ぜひ）	(八) イ（決して）	(九) エ（もしかすると）	

考え方

(一)　前のことの例を挙げているので「たとえば」。

(二)　雨が強くなったことを認めたうえで、それでも出かけたので「それでも」。

(三)　前の決まりに注意を付け足すので「ただし」。

(四)　二つのうちどちらかを選ぶので「または」。

(五)　あとの「～ようだ」と組になるのは「まるで」。

(六)　あとの「～ても」と組になるのは「たとえ」。

(七)　あとの「～たい」と組になるのは「ぜひ」。

(八)　あとの「～ない」と組になるのは「決して」。

(九)　あとの「～かもしれない」と組になるのは「もしかすると」。

法　文法　第3回の答え

(一) イ	(二) ウ	(三) エ	(四) オ	(五) ア
(六) エ	(七) ア	(八) イ	(九) オ	(十) ウ

考え方

(一) 動きを表し、言い切りの形がウ段の音で終わるので動詞。

(二) 言い切りの形が「い」で終わるのは形容詞。ただし「きれいな」は言い切りが「きれいだ」なので形容動詞。

(三) 言い切りの形が「だ」で終わるので形容動詞。

(四) 形がかわらず、動きやようすをくわしくするので副詞。

(五) ものの名前を表すので名詞。

(六) 言い切りの形が「い」で終わるのは形容詞。ただし「きれいな」は言い切りが「きれいだ」なので形容動詞。

(七) 「美しい」に「さ」がついて名詞になった言葉。

(八) 動きを表し、言い切りの形がウ段の音で終わるので動詞。

(九) 形がかわらず、動きやようすをくわしくするので副詞。

(十) 言い切りの形が「い」で終わるのは形容詞。ただし「きれいな」は言い切りが「きれいだ」なので形容動詞。

法　文法　第4回の答え

(一) ア	(二) イ	(三) ウ	(四) エ	(五) ア
(六) ア	(七) イ	(八) ウ	(九) イ	

考え方

(一)　「〜に…される」の形なので受け身。

(二)　「食べることができる」と言いかえられるので可能。

(三)　思おうとしなくても自然に思い出すので自発。

(四)　校長先生の動作をうやまっているので尊敬。「お話しになった」と言いかえられる。

(五)　「〜に…される」の形なので受け身。

(六)　前に「まるで」を入れられるのでたとえ。

(七)　前に「どうやら」を入れられるので推定。

(八)　前に「たとえば」を入れられるので例示。

(九)　前に「どうやら」を入れられるので推定。